

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特 許 公 報(B2)

(11) 特許番号

特許第6140219号
(P6140219)

(45) 発行日 平成29年5月31日(2017.5.31)

(24) 登録日 平成29年5月12日(2017.5.12)

(51) Int. Cl. F 1
B 6 2 B 5/00 (2006.01) B 6 2 B 5/00 Z
B 6 0 B 33/00 (2006.01) B 6 0 B 33/00 T

請求項の数 5 (全 7 頁)

| | |
|---|---|
| <p>(21) 出願番号 特願2015-107657 (P2015-107657)</p> <p>(22) 出願日 平成27年5月27日(2015.5.27)</p> <p>(65) 公開番号 特開2016-222006 (P2016-222006A)</p> <p>(43) 公開日 平成28年12月28日(2016.12.28)</p> <p>審査請求日 平成29年1月5日(2017.1.5)</p> <p>早期審査対象出願</p> | <p>(73) 特許権者 515143728 星 広宣 宮城県仙台市宮城野区新田東二丁目14-6 グランジュールマンション小鶴新田1105</p> <p>(74) 代理人 100088096 弁理士 福森 久夫</p> <p>(72) 発明者 星 広宣 仙台市宮城野区新田東二丁目14-6 グランジュールマンション小鶴新田1105</p> <p>審査官 林 政道</p> |
|---|---|

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 キャスターカバー

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項1】

箱型形状の単体のキャスターカバーで構成されたキャスターカバーであって、前記箱型形状の直方体の6面のうちの少なくとも1面が、一部の領域が、円弧状の切り口で開放された取り込み用切欠き部であって、

キャリアバックのキャスターが、前記取り込み用切欠き部をくぐって、前記単体のキャスターカバーの内部に収納され、

前記単体のキャスターカバー2個が、それぞれ対向する面から配置された連結部材によって連結されたことを特徴とするキャスターカバー。

【請求項2】

前記連結部材は、面状のゴムであり、前記キャスターカバー2個の対向する面に設置されたスリット部、あるいは固定部材を介して、それぞれのキャスターカバーと連結されたことを特徴とする請求項1記載のキャスターカバー。

【請求項3】

前記連結部材の張力により、前記キャスターカバーがキャリアバックのキャスターに固定されたことを特徴とする請求項1または2項記載のキャスターカバー。

【請求項4】

前記キャスターカバーは、少なくとも2個以上が待機されており、キャリアバックの4個以上のキャスターを収納することを特徴とする請求項1ないし3のいずれか1項記載のキャスターカバー。

【請求項 5】

前記キャスターカバーが、少なくとも2個以上であって、キャリーバックのキャスターが収納され、固定された後、前記キャスターカバーの底面が、部屋の床に密着されて、キャリーバックが床の上に垂直に保持されたこと特徴とする請求項1ないし4のいずれか1項記載のキャスターカバー。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、キャリーバックのキャスターカバーに関し、戸外から帰宅して、家の部屋にキャリーケースを運ぶ場合に、前記キャスターカバーを装着して、汚れたキャスターを、覆う機能を有するキャスターカバーに関する。

10

【背景技術】

【0002】

キャリーバックのキャスターに関しては、各種、公開特許が公開されている。

特許文献1には、キャスターが装着された部材を、キャリーバック内に収納するキャリーバックについて、記載されている。同じく、特許文献2には、キャスターが装着された部材を、キャリーバック内に収納するキャリーバックについて、記載されている。

特許文献3には、キャスターに関して、樹脂製で、簡単に組み立てできるキャスターについて記載されている。

【先行技術文献】

20

【特許文献】

【0003】

【特許文献1】特開2007-37755号公報

【特許文献2】特開2001-353015号公報

【特許文献3】特開2001-213109号公報

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

【0004】

従来のキャリーバックについては、部屋に持ち込む場合に、キャスターの汚れを防止する対策は、全く、施されていなかった。特許文献1, 2の場合は、よごれたキャスターをそのまま収納するという問題点があった。

30

【0005】

本発明の課題は、キャリーバックのキャスターに、容易に装着が可能であり、キャリーバックを室内に、持ち込んだ場合に、キャスターのよごれが付着しないようにすることができるキャスター用カバーを提供することである。

【課題を解決するための手段】

【0006】

本発明の請求項1に係るキャスターカバーは、箱型形状の単体のキャスターカバーで構成されたキャスターカバーであって、前記箱型形状の直方体の6面のうちの少なくとも1面が、一部の領域が、円弧状の切り口で開放された取り込み用切欠き部であって、キャリーバックのキャスターが、前記取り込み用切欠き部をくぐって、前記単体のキャスターカバーの内部に収納され、前記単体のキャスターカバー2個が、それぞれ対向する面から配置された連結部材によって連結されたことを特徴とするキャスターカバーである。

40

【0007】

本発明の請求項2に係るキャスターカバーは、前記連結部材は、面状のゴムであり、前記キャスターカバー2個の対向する面に設置されたスリット部、あるいは固定部材を介して、それぞれのキャスターカバーと連結されたことを特徴とする請求項1記載のキャスターカバーである。

【0008】

本発明の請求項3に係るキャスターカバーは、前記連結部材の張力により、前記キャス

50

ターカバーがキャリーバックのキャスターに固定されたことを特徴とする請求項 1 または 2 項記載のキャスターカバーである。

【0009】

本発明の請求項 4 に係るキャスターカバーは、前記キャスターカバーは、少なくとも 2 個以上が待機されており、キャリーバックの 4 個以上のキャスターを収納することを特徴とする請求項 1 ないし 3 のいずれか 1 項記載のキャスターカバーである。

【0010】

本発明の請求項 5 に係るキャスターカバーは、前記キャスターカバーが、少なくとも 2 個以上であって、キャリーバックのキャスターが収納され、固定された後、前記キャスターカバーの底面が、部屋の床に密着されて、キャリーバックが床の上に垂直に保持されたことを特徴とする請求項 1 ないし 4 のいずれか 1 項記載のキャスターカバーである。

10

【発明の効果】

【0011】

本発明の請求項 1 のキャスターカバーによれば、容易に装着が可能であり、キャスターのよごれが付着しないようにすることができるキャスター用カバーを提供することができる。

【0012】

本発明の請求項 2 のキャスターカバーによれば、連結部材によって、安定に、キャスターカバーをキャリーバックに固定することができる。

【0013】

本発明の請求項 3 のキャスターカバーによれば、連結部材によって、安定に、キャスターカバーをキャリーバックに固定することができる。

20

【0014】

本発明の請求項 4 のキャスターカバーによれば、キャリーバックの 4 個のキャスターを収納することができる。

【0015】

本発明の請求項 5 のキャスターカバーによれば、キャスターカバーを装着後に、キャリーバックを立たせることができる。

【0016】

本発明によれば、キャリーバックのキャスターに、容易に装着が可能であり、キャリーバックを室内に、持ち込んだ場合に、キャスターのよごれが付着しないようにすることができるキャスター用カバーを提供することができる。

30

【図面の簡単な説明】

【0017】

【図 1】実施例 1 のキャスターカバーの図。図 1 (a) は、キャスターカバーの斜視図、図 1 (b) は、キャスターカバーをキャリーバックに装着した後の、キャリーバックを立てた状態の図。

【図 2】実施例 2 のキャスターカバーが、キャスターを収納している状態の図

【図 3】実施例 3 の単体のキャスターカバーの図。

【図 4】実施例 4 の、単体のキャスターカバーの展開図

40

【図 5】単体のキャスターカバーの写真。

【図 6】一方の単体のキャスターカバーの写真。

【図 7】キャスターカバーの写真。

【図 8】キャスターが、シングルキャスターの場合の写真。

【図 9】キャスターが、ダブルキャスターの場合の写真。

【発明を実施するための形態】

【0018】

本発明の実施の形態によるキャスターカバーは、箱型形状の単体のキャスターカバーで構成されたキャスターカバーであって、前記箱型形状の直方体の 6 面のうちの少なくとも 1 面が、一部の領域が、円弧状の切り口で開放された取り込み用切欠き部であって、キャ

50

リーバックのキャスターが、前記取り込み用切欠き部をくぐって、前記単体のキャスターカバーの内部に収納され、前記単体のキャスターカバー 2 個が、それぞれ対向する面から配置された連結部材によって連結されたことを特徴とするキャスターカバーである。

【0019】

ここで、前記連結部材は、面状のゴムであり、前記キャスターカバー 2 個の対向する面に設置されたスリット部、あるいは固定部材を介して、それぞれのキャスターカバーと連結されている。前記連結部材の張力により、前記キャスターカバーがキャリーバックのキャスターに固定される。

【0020】

前記キャスターカバーは、少なくとも 2 個以上が待機されており、キャリーバックの 4 個以上のキャスターを収納することを特徴とする。ここで、前記キャスターカバーが、少なくとも 2 個以上であって、キャリーバックのキャスターが収納され、固定された後、前記キャスター用カバーの底面が、部屋の床に密着されて、キャリーバックが床の上に垂直に保持されたこと特徴とする請求項 1 ないし 4 のいずれか 1 項記載のキャスターカバー。

【0021】

(実施例 1)

図 1 は、実施例 1 のキャスターカバーの図であり、図 1 (a) は、キャスターカバーの斜視図、図 1 (b) は、キャスターカバーをキャリーバックに装着した後の、キャスターを立てた状態の図である。また、図 5、図 6 は、単体のキャスターカバーの写真、図 7 は、キャスターカバーの写真である。

【0022】

図 1 (a) にて、キャスターカバー 1 0 は、単体のキャスターカバー 1 a、1 b が、連結部材 4 によって繋がれた形体である。ここで、単体のキャスターカバー 1 a、1 b には、直方体の 6 面のうちの少なくとも 1 面が、一部の領域が、円弧状の切り口で開放された取り込み用切欠き部 1 a、1 b が開けられている。連結部材 4 は、ゴムバンドであって、連結止め具 4 1 によって、長さが調節される。

図 5、図 6 は、単体のキャスターカバーの写真、図 7 は、キャスターカバーの写真であるが、単体のキャスターカバーは、樹脂で形成されているが、この材質には、限られない。

【0023】

図 1 (b) は、キャスターカバー 1 0 をキャリーバック 2 0 に装着した後の状態であって、キャスター 2 0 を立てた状態の図である。ここで、連結部材 4 は、その表面部が、外部から目視できるので、前記表面部に、必要に応じて、表示文字、あるいは絵柄などをあらかじめ印刷など、処理しておくことも可能である。

【0024】

(実施例 2)

図 2 は、実施例 2 のキャスターカバーが、キャスターを収納している状態の図である。対向する 2 個のキャスター 5 が、それぞれ、単体のキャスターカバー 1 a、1 b の内部に収納されている。

図 8 は、キャスターが、シングルキャスターの場合の写真であり、図 9 は、キャスターが、ダブルキャスターの場合の写真である。シングルキャスターの場合、および、ダブルキャスターの場合ともに、キャスターカバー 1 a、1 b の寸法を設定することによって収納することが可能である。

【0025】

(実施例 3)

図 3 は、実施例 3 の単体のキャスターカバーの図である。

単体のキャスターカバー 1 c の中に、キャスター 5 が収納されている。ここで、単体のキャスターカバー 1 c の一方の面に傾斜を設けており、更に、樹脂製連結フインを設けており、前記樹脂製連結フインを、連結部材の、取り付け端部としている。

【0026】

10

20

30

40

50

(実施例4)

図4は、実施例4の、単体のキャスターカバーの展開図である。

ここで、連結部材を止める個所は、2本のスリット3a、3bを開けた構造である。

前記2本のスリットに、連結部材である、ゴムバンドを通過させて、固定する。

【産業上の利用可能性】

【0027】

本発明のキャスターカバーによれば、キャリアバックのキャスターに、容易に装着が可能であり、キャリアバックを室内に、持ち込んだ場合に、キャスターのよごれが付着しないようにすることができるキャスター用カバーを提供することができ、産業の発展に寄与する。

10

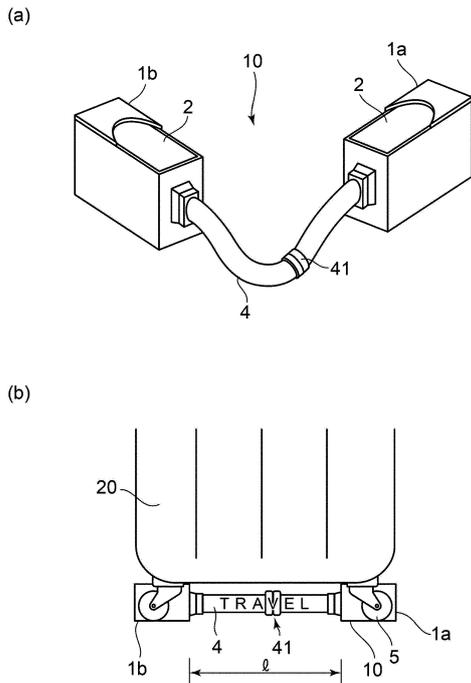
【符号の説明】

【0028】

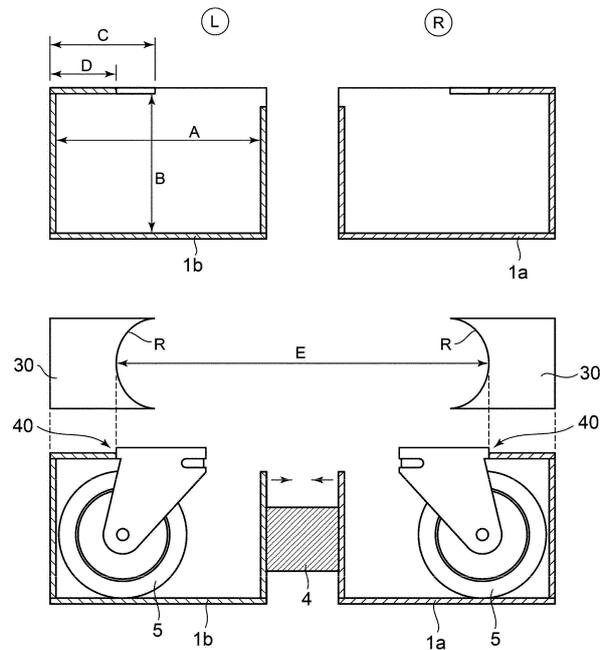
- 10 キャスターカバー
- 1a、1b、1c 単体のキャスターカバー
- 2 取り込み用切欠き部
- 3a、3b スリット
- 4 連結部材
- 41 連結止め具
- 5 キャスター
- 6 樹脂製連結フィン
- 7 止め具
- 20 キャリーバック
- 30 平面部
- 40 保持ポイント

20

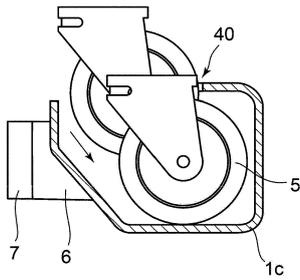
【図1】



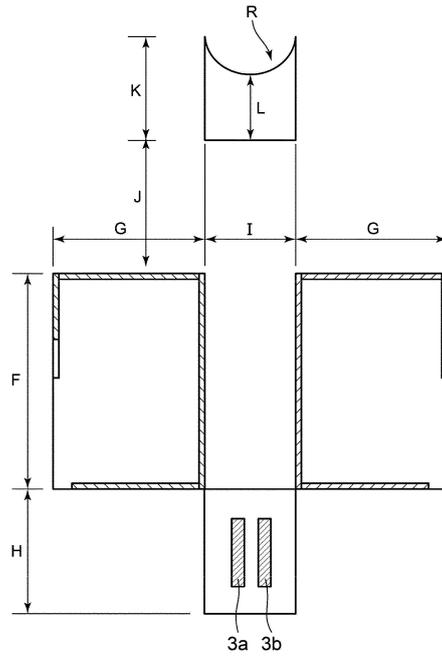
【図2】



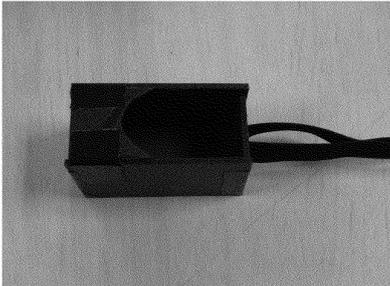
【 図 3 】



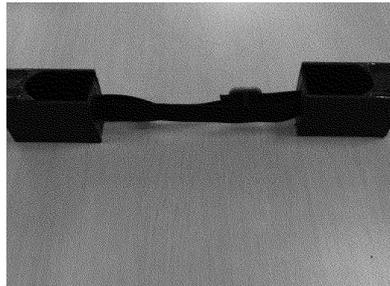
【 図 4 】



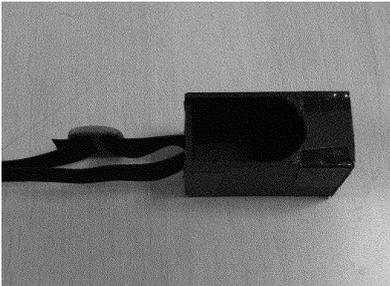
【 図 5 】



【 図 7 】



【 図 6 】



【 図 8 】



【 図 9 】



フロントページの続き

- (56)参考文献 登録実用新案第3141648(JP,U)
特許第5977422(JP,B1)
特開2003-127606(JP,A)
登録実用新案第3152207(JP,U)

(58)調査した分野(Int.Cl., DB名)

B62B 1/00 - 5/08
B62B 7/00 - 19/04
B60B 33/00
A45C 5/14
A47B 91/12